

## オーナーの願いで蘇った橋 心配から安心へ

### 「名医のやりくり」で寿命を二倍に！」

本来助かる患者でも、面倒だとか、目先に負担を嫌って助けられなかった例は多くある。しかし、管理者の願いと、名医のやりくりで、限られた財源で橋を蘇らせた事例がここにある。取り換えの五分の一の負担で寿命を2倍にした例である。

何が違うか？

- ① 「損傷」のみ診るのではなく「性能」で把握
- ② 制約条件を「絶対条件」とするのではなく「やりくり」する
- ③ 「一回の手当てで直す」から「日常的ケアで直す」へ

要件は、

- ① 要求性能の把握
- ② 信頼性の追求で合理性（やりくり）
- ③ 予防保全重視のメンテナンスへ



形式：鋼製方杖ラーメン橋

橋長：29.5m

幅員：3.0m

キーワード：

性能把握、やりくり、予防保全、  
自前・地元、身近でこまめ



鋼製脚の腐食・ストラッドの腐食



鋼製脚補強、ストラッドを新規に交換

※ 問い合わせ先（業務の内容や業務のご相談は、以下の連絡先までお問い合わせ下さい）

メールアドレス (info@hashimori.jp) 電話 (043-297-0207) 担当：浅岡、相田